

ミニレター

あぜみち通信

平成27年1月1日

第169号

編集・発行：愛知県農業会議

新年おめでとうございます

皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年末、安倍首相はアベノミクス解散を行い、総選挙では与党で三分の二以上の議席を得て、12月24日に第3次安倍内閣を発足させました。

安倍首相は、アベノミクスは選挙で承認を得た、アベノミクスの成功を確かなものとするため、経済最優先の政権運営と、農業やエネルギー、雇用、医療の分野での大胆な規制改革の断行すると記者会見で語られました。

農業委員会関係では、昨年6月24日に改訂されました「農林水産業・地域の活力創造プラン」で、農業委員会の業務の明確化、意見の公表等の削除、選出方法を市町村長の選任制へ変更、定数の削減、農地利用最適化推進委員(仮称)の設置、農業会議、農業会議所の役割見直などが示され、法律改正の作業が進んでいます。

農業委員会系統組織としては、12月4日の全国農業委員会会長代表者集会で決議した、業務については農地対策、担い手・経営対策への重点化、農業委員の代表制の確保、農地利用最適化推進委員(仮称)の役割の明確化、意見の公表、建議、諮問答申の維持、農業会議、農業会議所の系統性と独自組織としての維持などを要請しているところです。

今年は、要請実現に向け関係機関・団体と農業者とが一体となり進めなければなりませんので、皆様のさらなるご協力をお願い申し上げます。

最後に、皆様方にとりまして実り豊かな年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

愛知県農業会議 会長 川上 万一郎

あけましておめでとうございます

皆様にとりましても、本年が良き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

本年も、愛知県農業会議の事業へのご理解ご協力を心からお願い申し上げます。

愛知県農業会議 職員一同



平成26年度全国農業委員会会長代表者集会が開催されました

12月4日に東京都千代田区の「日比谷公会堂」において、全国農業会議所主催の平成26年度全国農業委員会会長代表者集会が開催されました。

全国農業会議所の二田会長は、「農業委員会組織・制度改革では、現場の意向を反映した制度改正とするためには、会長各位のご協力をいただき、裾野の広い実態に合った対策を講じて行く必要がある。また、農業委員会に期待されている、担い手への農地利用集積や遊休農地の発生防止・解消など目に見える実績の積み上げが必要である。」と主催者挨拶で述べられました。

また、来賓として、参議院山田俊男農林水産委員長、農林水産省経営局豊田育郎審議官から挨拶がありました。

続いて、第一部は、「農業・農村を発展させる農業委員会組織・制度改革のあり方について」と題して、すかいらーくフードサイエンス研究所の入澤肇理事長(元参議院議員・元農林水産省林野庁長官)の講演と、岩手県岩手町の松本良子農業委員会会長及び香川県三豊市の堀江博農業委員会会長から「担い手への農地利用集積と遊休農地対策について」の活動事例の発表が行われました。

次に、第二部として、「要請・申し合わせ決議」が行われ、[第1号議案]農業委員会組織・制度見直しに関する要請決議、[第2号議案]農業・農村の再構築に向けた基本農政の確立と施策推進に関する要請決議、[第3号議案]TPP交渉において国会決議の遵守を求める要請決議、[第4号議案]「農地を活かし、担い手を応援する全国運動」の推進に関する申し合わせ決議、[第5号議案]「情報提供活動」の一層の強化に関する申し合わせ決議、についての趣旨説明があり、第1号議案については一部の農業委員会会長から「公選制の維持を要請すべき」との強い申し入れがありました。二田会長は「地域の農業者からの推薦を基本とし、市町村長の恣意的な選任とならないよう議会承認を得るよう、透明性のある手続で地域の農業者の信任を得た代表制を確保することが重要である。」と理解を求め、全議案を採択し、岡山県農業会議片山虎之助会長のもとガンバロー三唱を行い、大会を終了しました。

要請決議については、参議院の藤川政人議員(自由民主党愛知県支部連合会会長)始め愛知県選出の参議院議員の皆様、大会に参加した名古屋市農業委員会上田幸雄会長始め各支部長で要請活動を実施しました。

なお、衆議院議員の皆様には総選挙後、農業会議事務局で要請を行いました。

農業者年金加入推進セミナーが開催されました

12月3日に東京都千代田区の「砂防会館」において、全国農業者年金連絡協議会と全国農業会議所共催の農業者年金加入推進セミナーが開催されました。

二田世話人代表から「農業者年金の加入者13万人を目指して、地域に根差し経験を活かした、さらなる加入推進をお願いしたい。」と挨拶がありました。

来賓として、農林水産省奥原正明経営局長、(独)農業者年金基金中園良行理事長から祝辞がありました。

その後、「介護されたくないなら粗食はやめなさい」と題して、人間総合科学大学教授の熊谷修氏による講演が行われました。

引き続き、宮城県登米市の秋山耕農業委員会会長、長野県東御市の樽原由紀子前農業委員、福岡市八女市の塚本ちえ子農業委員会会長による、加入推進に関する事例報告と情報交換が行われました。

事例報告終了後、「農業者年金の加入推進と『のうねん倶楽部』の組織活動の強化に関する申し合わせ決議」を採択し、農業者年金加入推進セミナーを終了しました。

常任会議員会議（１２月）の審議状況について

12月15日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法に係る愛知県知事等からの諮問に対する答申を審議する常任会議員会議を開催しました。

12月の諮問は、農地法第4条に基づく転用事案48件(平成25年12月31件)、33,694㎡(同16,593㎡)、同法5条に基づく転用事案230件(同246件)、207,247㎡(同176,517㎡)についてそれぞれ審議し、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

東海・北陸ブロック女性農業委員特別研修会が開催されました

12月9日に岐阜県岐阜市の「じゅうろくプラザ」において、東海・北陸各府県の農業会議と女性農業委員組織の共催で、平成26年度東海・北陸ブロック女性農業委員研修会が開催されました。

主催者を代表して岐阜県女性農業委員協議会の後藤展子会長から「第22回農業委員統一改選で女性農業委員が全国で518名増加した。女性農業委員は食育、直売、6次産業化に取り組み、活動に向けてのパワーが素晴らしい。今後も男女共同参画、日本農業の発展に向け一翼を担うよう頑張りたい。」と開会の挨拶があり、その後、岐阜県農政部の桂川直人農村振興課長から歓迎の挨拶がありました。

研修会では、全国農業会議所から「第22回農業委員統一選挙結果の概要」及び東海農政局から「農業女子プロジェクトについて」情報提供があり、その後、「経営継承の理想の形～女性ならではの世話役活動を考える～」と題し、パネラーに高田農園(岐阜県本巣市)の高田禮子さん、高田さなえさん(後継者の嫁)と有しいたけブラザーズ(岐阜県川辺町)の横田喜子さん、横田美由紀さん(後継者の嫁)を迎えパネルトークが行われました。

パネルトーク終了後、「地域農業の振興に向けた女性農業委員の役割」をテーマにグループディスカッションを行い、次期開催県のひょうご女性農業委員ネットワークの高木幸枝代表の挨拶で閉会しました。

愛知県米需給調整推進会議が開催されました

12月17日に、名古屋市中区の「愛知県自治センター」において、愛知県米需給調整推進会議が開催されました。

会議は、報告事項として、平成26年産米の需給調整の概要及び取組状況について、平成26年度経営所得安定対策の概要及び取組状況について、平成27年産米の需給調整と経営所得安定対策見直しの概要について説明がありました。

協議事項として、「平成27年産米の市町村別生産数量目標及び自主的取組参考値の設定方針」を承認し、その後、市町村別生産数量目標及び自主的取組参考値を原案どおり承認されました。

また、東海農政局から平成27年産米における都道府県別の生産数量目標の設定方法等や平成26年産米等への対応等について情報提供がありました。

農林畜産物品評会表彰式が開催されました

12月19日に、名古屋熱田区の「熱田神宮会館」において、愛知県農業協同組合中央会及び熱田豊年講の共催により、農林畜産物品評会表彰式並びに熱田神宮農業功労者顕彰式が開催されました。

表彰式開催前に、関係者出席のもと、熱田神宮神楽殿において「平成26年度農業感謝祭」が厳かに執り行われました。

表彰式は、吉田中央会会長、安田豊年講総代の主催者挨拶、小串熱田神宮宮司の挨拶の後、第33回熱田神宮農業功労顕彰状を二村利久氏(前農業会議副会長、名古屋市)、小澤隆氏(碧南市農業委員会会長)及び米山秀雄氏(新城市)の3名の方々に贈呈されました。

顕彰状贈呈後、第64回農林畜産物品評会の審査報告が中西愛知県農業総合試験場長からあり、農林水産大臣賞、熱田神宮宮司賞に片山政廣氏(品目:うるち米、常滑市)及び河辺直司氏(品目:キャベツ、田原市)、東海農政局長賞に内田義正氏(品目:みかん、蒲郡市)、愛知県知事賞に名倉和市氏(品目:大豆、西尾市)、榊原伸良氏(品目:にんじん、碧南市)、鈴木光博氏(品目:トマト、田原市)、尾崎健介氏(品目:いちご、蒲郡市)、新谷孝二氏(品目:白菜、豊田市)、愛知県議会議長賞は岩瀬利彦氏(品目:うるち米、西尾市)、名古屋市長賞に安井初枝氏(品目:みつば、中川区)、山口義博氏(品目:ブロッコリー、緑区)、名古屋市会議長賞に丹羽新太郎氏(品目:蜂蜜、西区)始め387名の皆さんが表彰を受けました。

なお、品評会には、種芸874点、園芸品1,723点、苗木花木130点、畜産林産農林畜産加工152点の合計2,723点の出品がありました。

今後の主な行事予定

1月 9日 企業の農業参入に関する研修会(アイリス愛知)

1月15日 常任会議員会議(三の丸庁舎)